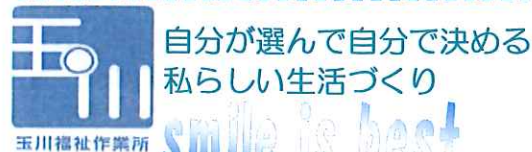


玉川福祉作業所
〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-7-2
TEL.03-3707-0498 FAX.03-3707-7589
玉川福祉作業所 等々力分場
〒158-0082 東京都世田谷区等々力2-13-4
TEL.03-5707-1330 FAX.5707-1332
【事業主体】社会福祉法人大三島育徳会



ホームページもご覧ください
<http://www.oomishima.jp/>

編集後記：
暑かった夏が嘘のよう。今年もあと1か月と少しになってしまいましたね。玉福は年末の風物詩ポロ市の準備に追われ1年の中でも最も忙しい繁忙期です。ポロ市が終われば一息。今年を振り返り新しい年はどんな年にしていこうかゆっくり考えていると思っています。 M

地域交流

たんぽぽグループが大活躍

仕事が好きで、青年期や壮年期にはバリバリ働いてきたけれど、50歳を過ぎた今は仕事だけではなくリラックスする時間や、おしゃべりの時間、趣味的な活動の時間をとりいれて、自分のペースを大事にしながらゆっくり働いていきたい。そんな皆さんの希望をかなえるため今年度から発足したのが『たんぽぽグループ』です。玉川福祉作業所の50歳以上の希望者から構成され、週1回程度、作業を離れてのんびり過ごせるプログラムを実施しています。そんな「たんぽぽグループ」が活躍しているのが地域交流。特にご近所の地域共生の家「ぬくぬくハウス」（※玉川福祉作業所から歩いて10分。井戸とデッキのある緑豊かな家、その名もぬくぬくハウス。家主の温井さんが子どもから高齢の方まで安心して過ごせる場所にしたいと自宅を地域に開放しました。大人の学びの場「おとな・ぬくぬく」、年齢に限らない多世代交流の場「まぜっこ・ぬくぬく」といった多様な居場所を地域の方々に提案し活動されています）と一緒に地域の活動を盛り上げました。オカリナ演奏会・夏の流しそうめん・にこにこデイや瀬田中学校の学生さんとのゲーム交流・うたごえ喫茶・おはなし会に参加し、われらが「たんぽぽグループ」もすっかり地域の顔になっています。ぬくぬくさんとの活動以外にも、毎月1回玉川町会、二子玉川小学校とともに二子玉川駅周辺地域の地域清掃に参加し、そこでもたくさんの顔なじみができています。



主な行事予定（11月～3月）

11月19日（土）多摩川を楽しむ会
12月4日（日）区民ふれあいフェスタ（区役所）
12月15（木）・16日（金）ポロ市販売
12月21日（水）「はっぴいハンドメイドの日」
（キャロットタワー販売会）
12月29日（木）～1月3日（火）年末年始休業
1月11日（水）新年会
1月16日（月）～個人面談開始
2月26日（日）ビー・スマイルOB会総会
3月7日（火）保護者連絡会
3月29日（水）仕事納め会
3月31日（金）利用者休業日



広報 たまがわ

発行元：世田谷区立玉川福祉作業所

「地域や人との繋がりのなかで」

障害者支援局副局長 橋本睦子

6月に広報たまがわをお届けしてから4か月がたちます。この間におぞましい津久井やまゆり園の殺傷事件がありました。亡くなられた19名の方々のご冥福をお祈りするとともに傷ついた多くの皆さまの早い回復をお祈り申し上げます。

二度とこんなことが起こらないよう障害者支援の現場にいる私たちに出来ることは何か、その問いに答えていきたいとの思いを強めています。この事件にふれて思うことは、犯人が障害者の存在を否定する思想をどこで醸成させてしまったのかということです。薬物のせいだったのか、それとも日々の障害者支援の負担感からなのか、いずれにしろ納得できる理由など見つかるはずはありません。

私たち職員が、日常的に障害者支援への思いや仕事に対する誇りを語りあうことこそ、とても大切なことだと考えます。どんなに日々の業務に追われても自己を見失わず、仕事を選んだ時の志を忘れないことです。利用者の笑顔はきっとそれに気づかせてくれるでしょう。これからも事件を風化させないように注目していきたいと思います。

作業所では、事件後に緊急保護者説明会、施設設備の見直し、「悪意のある侵入者」を想定し警察の協力も頂きながら防犯訓練を行いました。とは言え今回のことで作業所を閉鎖的にしてはいけないとも考えています。これからも障害者が、地域や人との繋がりの中で生き生きと生活することを支えるという大きな役割を果たしていきます。

大規模災害への対策も含め作業所の危機管理体制を実行力のあるものとして今後も整備・強化していきたいと思います。

「秋の道友会祭りに参加して」

施設長 阿久沢佐喜子

10月1日（土）玉川福祉作業所の利用者2名と職員2名で、青森ワークキャンパスにて行われた「秋の道友会祭り」に参加してきました。

八戸市は秋の長雨が続けていたそうですが、当日は抜けるような青空の下、玉川福祉作業所の敷地の何倍もあるような中庭に地域団体からたくさんのお店ーパン製品・地元採りたての野菜や果物等の販売ーがあり、大勢のお客様で賑わいました。オープニングでは地域の保育園や中学校のダンスや吹奏楽がにぎわいを添えて、道友会が地域のつながりを大切にしていることが伝わりました。

作業所の販売ブースも正面玄関前に用意され、たまピカクロスも土鈴も人気があり、参加した利用者さんは、作業所に戻ってからも「楽しかったー！」と終始笑顔でした。

今後も青森ワークキャンパスの皆さんと顔の見える関係を大切に、自主生産のつながりを超えて交流を図っていききたいと思います。



このロゴマークは「大」の字と3つの丸の島を配置し大三島をイメージしました。
青は空・清流
赤はぬくもり
緑は安心やすらぎ
黄は希望

主な記事：

地域や人との繋がりのなかで	1
秋の道友会祭りに参加して	1
玉福だより	2
Challenge 就労	2
日帰り旅行に行ってきました	3
分場だより	3
行事予定	4
地域交流	4



10月13・14日 千葉・マザー牧場・鴨川シーワールド宿泊旅行

利用者の皆さんからの希望が多かった『動物とふれ合う・温泉・海』をキーワードにプランをたて、今年度の行先は全てが叶う千葉に決定しました。アクアラインを走り海ほたるを経由して、マザー牧場では陸上生物、鴨川シーワールドでは水中生物、ホテル三日月の黄金風呂や銀の風呂、オーシャンビューの客室から眺めた太平洋、帰りは東京湾フェリーによって船旅も堪能し充実した旅行になりました。



Challenge !! 就勞

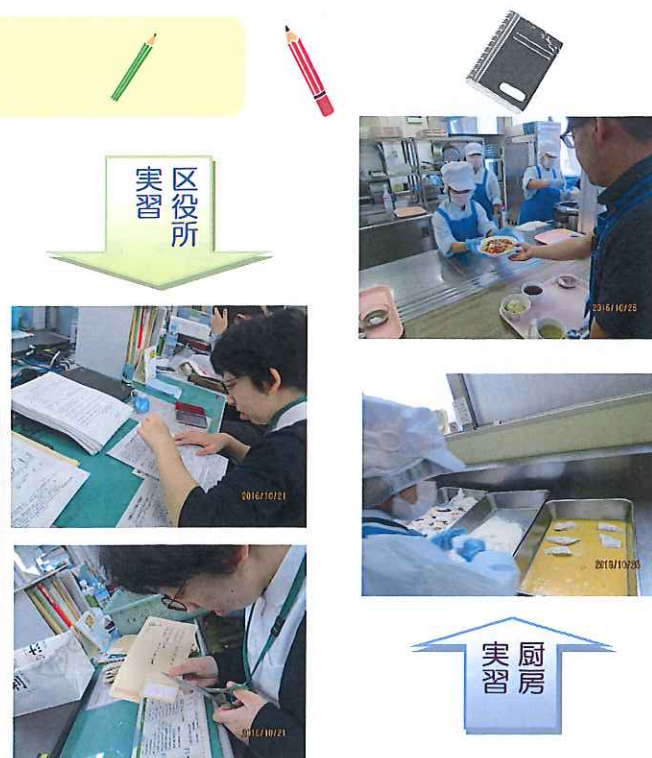
就労移行グループ実践報告

就劳移行支援担当

鈴木

10月19日(水)～10月21日(金)の3日間、Aさんが玉川総合支所にて実習を行い、判子押しや切手切りなど、事務系の仕事を行いました。たくさんの方がいる中での実習でしたが、3日間元気に挨拶をし、難しい仕事にもチャレンジしました。

10月24日(月)～10月28日(金)の5日間、Sさんが玉川福祉作業所の給食委託業者である富士産業株式会社で実習を行いました。作業所内の厨房で実習を行い、毎日おいしい給食を提供してくれました。



日帰り旅行に行ってきました



宿泊か日帰りか選べる選択行事の第1弾、日帰り旅行に9月30日（金）に行ってきました。今回の参加利用者は本園、分場あわせて4名という小規模なグループでしたが、人数の少なさを活かしアクティブに活動できました。品川発の大江戸歴史クルーズでは、これからパナマに向かう巨大コンテナ船や羽田空港から飛び立つ飛行機を見送りながら海外に思いをはせました。浅草でおいしいお寿司ランチの後は人力車に乗って吾妻橋を渡り隅田川を見ながらも江戸時代にタイムスリップ。最後に江戸文字やスカイツリーなどの方をそれぞれのミニトートにステンシルで染付し自分だけのマイバックを作りました。



分場だよ

10月6・7日 東京ディズニーシー・浅草宿泊旅行



今年の旅行は台風が心配でしたが当日は天気も良く、気持ちの良い旅行日和となりました。東京ディズニーシーではたくさんの乗り物に乗り、水上ショーを見ました。宿では毎年恒例のカラオケ宴会を行い盛り上がりました。翌日は浅草雷おこし作り、ガラスの箸置き作りをし、皇居二重橋近くのレストランでの昼食、電車工場見学をしてきました。あっという間の二日間でしたが、思い出に残る楽しい旅行になりました。